

# P!MOT 用プログラム転送ソフトについて

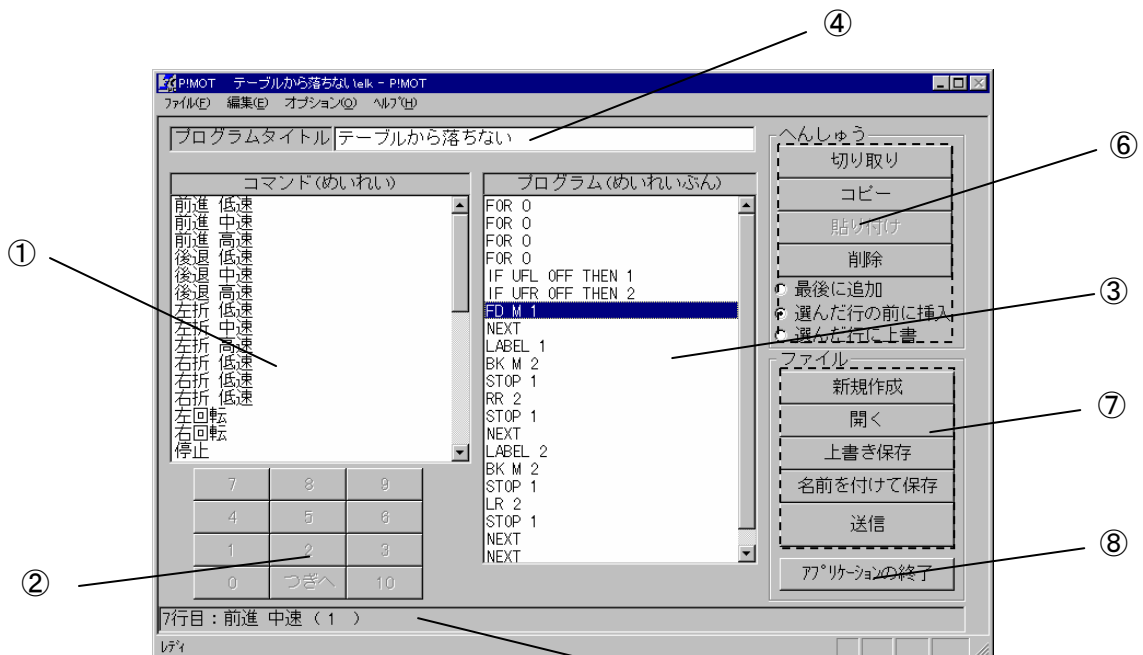
## 【P!MOTにプログラムを転送するために必要なもの】

- ・P!MOT(MR-9762) 本体
- ・P!MOT 用プログラム転送ソフト <http://www.elekit.co.jp> から無償ダウンロードできます。
- ・インターフェイスカード(IF-96) ※別売 価格 1,500 円(税別)
- ・プリンタケーブル ※別売

## 【特長】

- ・ P!MOT のキーボードでもプログラムはできるけど、このソフトを使ってパソコンで P!MOT のプログラムを作ると、プログラムを確認しながら作っていくことができます。
- ・ パソコンを使うので、作ったプログラムを保存しておくこともできるし、あとで編集(プログラムの変更・修正など)も簡単にできます。
- ・ プログラミング方法は、ディスプレイに表示されている日本語で書かれているコマンドと、数字キーをマウスで順序良くクリックしていだけで簡単に作ることができます。
- ・ 作ったプログラムを簡易的に解説してくれる表示部も持っているので、プログラム初心者の方も安心して P!MOT を動作させるプログラムが作れます。

## 【P!MOT 用プログラム転送ソフトの画面】



### ① コマンド(命令)選択ウィンドウ

P!MOT を動作させるコマンドが日本語で表示されています。あなたが P!MOT にさせたいコマンドを選ぶウィンドウです。

### ② テンキー

コマンドを選択した後、必要があるときに押すことができますようになります。動作時間や、繰り返し回数、ラベル番号などを入力します。

### ③ プログラム表示ウィンドウ

作成しているプログラムが表示されます。コマンドを選択したり、テンキーを押して作ったプログラムがどのようになっているかを確認することができます。

④ プログラムタイトル入カバー

コマンドを選択したり、テンキーを押して作ったプログラムに好きな名前をつけることができます。

⑤ プログラム解説バー

プログラム表示ウィンドウで選択した行を簡単に解説します。

⑥ 編集ボタン

作っているプログラムや保存していたプログラムを修正・追加するときなどに使用します。

⑦ ファイルボタン

保存しているプログラムを開いたり、名前をつけて保存するときなどに使用します。

**【プログラム方法】**

FOR~NEXT 命令を使って P!MOT が四角に動くプログラムを作って、プログラム方法を説明していきます。直進は中速で「2」、右回転は「4」とします。

- ① コマンド(めいれい)ウィンドウの「FOR(次の行からNEXTまでを繰り返す)」をダブルクリックします。次にテンキーから「4」→「つぎへ」をクリックします。プログラム表示ウィンドウに下図のように表示されます。



② 次の順番でクリック(コマンドはダブルクリック)します。

「前進 中速」→「2」→「つぎへ」→「停止」→「1」→「つぎへ」→「右回転」→「4」→「つぎへ」→「停止」→「1」→「つぎへ」→「NEXT(FOR から前の行までを繰り返し)」

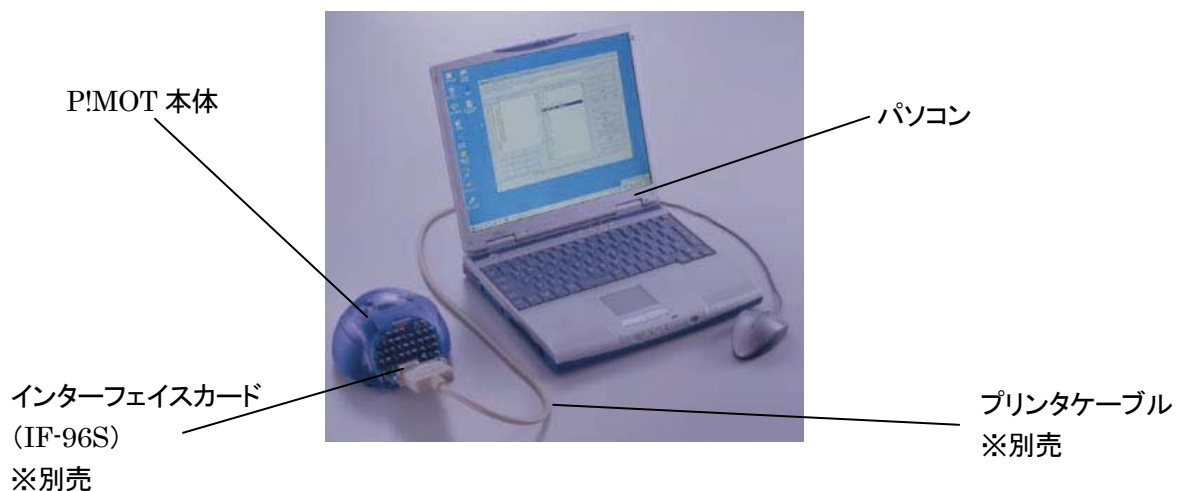


以上で四角に動くプログラムは完成です。

### 【プログラム転送方法】

① P!MOT、インターフェイスカード(IF-96S)、パソコンを下のようにつなぐ。プリンタケーブルは、パソコンのプリンタポートにつなぐ。

※パソコンはデスクトップタイプでも問題ありません。



- ② P!MOT をプログラムレシーブモードにします。

P!MOT 本体背面キーボードを「RESET」→「MODE」→「0」の順に押します。

すると、LED-L(緑)とLED-R(赤)が点滅を始めます。LED-LとLED-Rが点滅を繰り返せば、プログラムレシーブモードになったことを表します。

- ③ 次に P!MOT 用プログラム転送ソフトの「送信」ボタンをクリックします。

P!MOT 本体の LED-L、LED-R が消灯すれば転送完了です。

- ④ インターフェイスカード(IF-96S)を P!MOT から取り外し、P!MOT の「MODE(RUN)」ボタンを押すと、転送したプログラムで動作を始めます。